

ガイキンド インドネシア国際オートショー2023 に  
小型商用バン BEV のコンセプトカー「VIZION-F」などを出展  
～LCGC<sup>※1</sup>や電動車など多様な選択肢でカーボンニュートラル実現に貢献～



V I Z I O N - F

ダイハツ工業株式会社（以下 ダイハツ）のインドネシアの現地法人であるアストラ・ダイハツ・モーター（以下 ADM）は、2023年8月10日（木）～20日（日）にジャカルタで開催される「ガイキンド インドネシア国際オートショー2023」に、今年3月にフルモデルチェンジした新型「AYLA（アイラ）」や小型商用バンBEVのコンセプトカー「VIZION-F（ビジョン エフ）」など、13台の車両を出展します。

ダイハツは、インドネシアにおけるカーボンニュートラル実現へ貢献するべく、マルチパスの考え方のもと、インドネシアのお客様に多様な選択肢の中から最適なクルマを選択いただけるよう、徹底的な現地化にこだわりながら、低燃費、省資源でLCA<sup>※2</sup>視点で環境に優しく、「LCGC」に適合した良品廉価なエコカーや、HEV・BEVといった電動車など、様々な研究開発を進めています。

ダイハツブースでは、今年3月に発売した「LCGC」適合の5人乗りコンパクトカー、新型「AYLA（アイラ）」のショーモデルを展示。また、小型商用車「グランマックス バン」をベースとし、ADM R&Dが企画・製作したコンセプトカー「VIZION-F」を出展します。インドネシアでの更なる経済成長に伴う輸送量の拡大や、効率的なラストワンマイル輸送ニーズへの対応に加え、今後の輸送業界・企業のカーボンニュートラル対応ニーズの高まりを見据え、現地に最適な形での商用車の電動化に向けた新たな可能性を提示します。

さらに、商用用途だけでなく、レジャーなど幅広い用途で活用できる軽自動車「アトレー」も展示し、多様なラインナップで、インドネシアにおけるカーボンニュートラルの実現とモビリティの活性化に貢献する思いを発信しています。

今後もダイハツは、グループスローガン“Light you up”のもと、インドネシアをはじめ、アセアンを中心とした各地域において、お客様の生活に寄り添った良品廉価なクルマづくりを行うとともに、自動車の普及および産業発展、人材育成に貢献する企業を目指します。

※1：Low Cost Green Car の略。インドネシアにおけるエコカー基準

※2：Life Cycle Assessment